（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2022.4.1　Vol.1726　4月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

1面　22春闘妥結収拾、第6中
1面　「森屋隆」参議院議員、政府答弁引き出す
2面　福岡県選挙区「古賀ゆきひと」氏を推薦決定

2面　準組織内予定候補「辻元清美」氏メッセージ
2面　家族会学習会、参加者募集
2面　分会トピックス（愛宕浜・竹下・百道浜）

22春闘解決一覧
（私鉄総連加盟の西鉄グループ労組）

単組名	賃金	臨時給
西鉄バス北九州労組	定昇実施	夏1.5 冬別途協議
西鉄観光バス労組	一人平均1,500円	年間3、新制度により実施
九州急行バス労組	一人平均2,200円、 事務員一律3,000円+ベア	年間3.8 （夏1.2+業績連動、冬2.6）
日田バス労組	一人平均1,000円	業績連動
亀の井バス労組	社員1,500円、 N社員1,500円（一人平均）	年間3.0 （夏1.5、冬1.5）
西鉄グループバス労組	一人平均2,000円	年間3.0+業績手当 （夏1.5、冬1.5）
筑豊電気鉄道労組	定昇実施	業績連動
私鉄福岡西鉄タクシー労組	現行通り	業績連動
久留米西鉄タクシー労組	非乗務員800円、 乗務員800円（残業込み）	別途協議
西日本鉄道労組	一人平均4,500円+500円（制度上昇給）、国際物流事業本部:定昇実施+特別手当100,000円	業績連動

※私鉄総連調べ

22春闘、妥結収拾
第6回中央委員会
■開催日：3月18日（金）
■場　所：組合本部

◆1人平均4,500円+500円（制度上昇給）
◆国際物流事業本部:定昇実施、特別手当10万円

妥結収拾を決定した第6中

3月18日、組合本部で、第6回中央委員会を開催し、中央委員ほか、約60名が出席。22春闘の妥結収拾を決定するなど、すべての議案を原案どおり満場一致で決定した。

組合は、要求書提出以降、3回の団体交渉と断続的な事務折衝を重ね、17日のヤマ場の交渉に臨んだ。組合は、会社に対して、「コロナ禍の中、生産に協力してきた組合員の努力に報いるためにも、誠意ある回答を求める」と、賃上げの必要性を繰り返し主張した。一方、会社は、組合の主張に理解を示すも、「厳しい経営状況に変わりはない」と、賃上げに慎重な姿勢を崩さず、交渉は難航した。

しかし、昨年を上回る高率のスト権を背景に粘り強く交渉を重ねた結果、賃上げについては、一人平均4、500円＋制度上昇給500円、国際物流事業本部は定昇実施・特別手当10万円の回答を引き出した。また、初任給についても、全学歴で引き上げることができ、回答を受諾。翌日の第6回中央委員会で、妥結収拾を決定した。出席した国際物流事業本部の中央委員からは、「特別手当を勝ち取ることができ、職場の組合員も喜んでくれると思う」との声があがった。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第6号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

各職場・ご家庭からの力強い後押しに心から感謝申し上げます。

22春闘フォトメッセージパネル作成

青年女性協議会は、「私鉄バスのうたごえ」をはじめ春闘諸行事が中止となる中、22春闘における職場からの闘争態勢強化の取り組みとして、22春闘フォトメッセージパネルを作成。22春闘勝利に向けて各職場で団結を深める青年女性組合員の想いを写真にして、1枚のパネルにまとめあげた。

出向班長交代

◆人事サービス出向班
※敬称略
【新】三重野 博文
↑
中村 昭次
（3月1日付）

私鉄総連組織内議員「森屋隆」参議院議員NEWS
政府から「交通労働者の待遇改善は重要課題」との答弁引き出す

3月1日、参議院予算委員会で、私鉄総連組織内議員「森屋隆」参議院議員が初めて質問に立ち、政府から交通労働者の賃上げに直結する重要答弁を次々に引き出しました。ここでは、その一部をご紹介します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

交通労働者の待遇改善は岸田政権の重要課題

森屋議員の質問に対して、松野官房長官が、公共交通労働者の労働条件改善を岸田政権の重要課題と認めました。そして、「（事業者が）賃上げがしやすい環境作りを強化したい」と、労働者の賃金・労働条件改善を後押しする方向性を明言しました。

公共交通への補填は賃上げの原資、あらゆる施策を総動員

岸田政権の「新しい資本主義」も担当する山際経済再生担当大臣から「公共交通への補填は賃上げの原資。あらゆる施策を総動員して賃上げ環境をつくる」という答弁を引き出しました。今後、森屋議員は、賃上げにつながる直接支援を粘り強く求めていくとしています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

たった一度の質問で政府を動かした森屋議員。組合員の皆様の力で「森屋隆」議員をつくりあげた意味がここにあります。運賃改定の機運も高まる今、交通運輸で働く私たちの賃上げを実現するため、「森屋隆」議員は国会の最前線で奮闘しています。

※森屋隆News（No.22）より一部抜粋。全文はイントラネットの西鉄労組掲示板に掲載。また、参議院インターネット審議中継では、質問する森屋議員の動画を見ることができます。

▲Facebook
▲参議院中継

合同政策委員会

■開催日：3月31日(木)
■場　所：組合本部

2022政策・制度要求(案)決定

3月31日、組合本部で、合同政策委員会を開催し、各部門の政策委員と執行委員が出席。昨年の政策・制度要求に対する回答について、評価をおこなうとともに、4月19日開催予定の「2022政策セミナー」で議論する「西鉄労組2022政策・制度要求(案)」を決定した。

また、会議の前段では、学習会を開催。連合福岡より、政策・連帯局長の犬塚恵氏(金武分会出身)を招き、連合福岡の政策・制度要求に対する福岡県の回答について、解説を受けた。

【政策部】

◆出席者：真名子(早良)、荒井(土井)、花田(金武)、徳永(高速)、熊谷(宇美)、池田(那珂川)、高尾(電技)、岡本(柳乗)、田中(SS)、赤石(線技)、池田(事務)、佐伯(東日本)、橋本(名阪)、執行委員　※敬称略

60歳以降の働き方を労使で議論

3月28日、本社で、第5回目となる「60歳以降の働き方検討委員会」を開催し、定年延長制度を含めた60歳以降の働き方について労使で議論をおこなった。組合は、今後、小委員会および特別対策委員会で議論を重ね、組合としての考え方を確立し、会社との協議に臨んでいく。

また、同日、本社で、「要員管理の在り方など総労働時間短縮に向けた労使検討委員会」を開催。21秋闘の組合要求である「会社指定休暇未導入職場における総労働時間短縮など実効性のある施策の実現」に向け、要員管理に関する現状認識や課題などについて、労使で意見交換をおこなった。

第26回参議院議員選挙 私鉄総連準組織内候補予定者
「辻元清美」氏メッセージ

新型コロナウイルス感染症の収束が見いだせないなか、私鉄の職場で働き、人々の暮らしや社会インフラを支えておられる皆様に敬意を表します。

長びくコロナ禍で、かつてないほど公共交通産業は傷んでいます。同時に関連するグループ企業で働く組合員の皆様も厳しい状況に追い込まれています。

2020年の鉄道事業者の営業利益は、大手私鉄で約4,700億円減、地域鉄道で約260億円減となり、多くの事業者が資産売却などをはかりながら、何とか事業の継続をはかっているのが現状です。バス産業では、1月以降、高速バスの輸送人員は60%減、路線バスは25%減となっています。貸切バスは約6～7割の事業者が50%以上の運送収入の減少を見込んでいます。これらに対応していくためには、公共交通を守るための、政治の力が必要です。

私は、今の政治に対し「やっぱり、だまってられへん」との思いが高まり、この夏、新たな一歩を踏みだす決断をしました。今、全国を行脚して、一人ひとりの声に耳を傾けています。

私鉄の組合員の皆様の労働環境は厳しさを増しており、このまま交通産業が維持できるのか、不安の中で日々の業務に当たっているという声が、私にも届いています。ご家族の皆様のご苦労、忍耐も限界にきているのではないでしょうか。

私は、国土交通副大臣の時に、国交省をあげて交通基本法の制定にとりくみ、地方公共交通を支援する予算をつくりました。リーマンショック後よりも状況が厳しい今、国が直接支援の枠組みを増やしていかなければ手遅れになりかねません。公共交通を守ることが地域にとっての基盤であり、地域経済を守ることが、地域を発展することにつながるとあらゆる機会に訴えていこうと思います。

また、今、大きな課題のひとつは適正運賃の実現です。長年に渡って、すえおかれた、今回の大改訂を、皆様の生活と待遇改善につなげていくこと、車両や施設の老朽化の改善なども必要です。さらに、都市部の鉄道では、殺傷事件などの重大事件が多発しています。事業者や働く者の負担が大きすぎる現状、もっと政府の支援が必要だと思います。

公共交通を守り活かして、環境にも地方経済にもやさしい持続可能な日本にできるのか、私たち一人ひとりにかかっています。エッセンシャルワーカーである皆様が安心して重責を果たしていけるよう、そして平和と民主主義を守り、誰もが安心して働き暮らせる社会を実現するため、より一層、皆様と力を合わせ取り組んで参ります。

辻元 清美

第26回参院選(福岡県選挙区)
「古賀之人(ゆきひと)」氏を推薦決定

組合は、今夏の第26回参議院議員選挙(福岡県選挙区)において、「古賀之人(ゆきひと)」参議院議員(立憲民主党・現1期)を組織外予定候補者として推薦することを第6回中央委員会で決定した。

古賀参議院議員は、久留米市出身の62歳。FBS福岡放送のアナウンサーを経て、2016年7月に初当選を果たした。

「西鉄労組家族会学習会」参加者募集!!

第1講座：政治学習会
講師：福岡市議会議員
近藤さとみ 様

第2講座：防犯対策
講師：福岡県警より

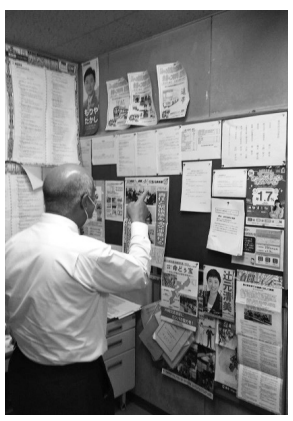
■日時：5月23日(月)
11:00～14:00(予定)
■会場：西鉄労働会館4階
(福岡市中央区大手門1-4-16)
※ 参加申込は分会長・出向班長まで

分会トピックス

分会掲示板を徹底活用
愛宕浜分会

現在は、コロナ禍で組合活動に様々な制限があるため、組合員の皆様と緊密なコミュニケーションがとれない環境になっています。しかし、そのような状況においても組合活動を停滞させることがないように、愛宕浜分会では分会掲示板をフル活用しています。ここでは、営業所内の取り決め事項や、労金・こくみん共済coopの情報、22春闘速報などを掲示し、様々な活動の共有に努めています。さらに、これから第26回参議院選挙が控えているため、組合員一丸となって準組織内予定候補「辻元清美」氏の当選に向け、盛り上げていかなくてはなりません。組織内候補の重要性と、政治に無関心でも無関係ではいられないということを組合員の皆様に正しく理解していただくため、これからも正しい情報の発信・共有に努めてまいります。

【教宣部長　室田将一】



ららぽーと福岡、いよいよ開業！
竹下分会

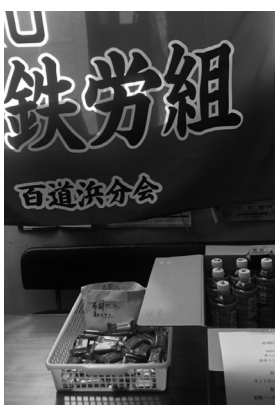
オミクロン株の拡大で長引くコロナ禍の中、依然として仕事や組合活動に影響が出ています。そのような中、竹下分会では、4月25日にオープン予定である「ららぽーと福岡」の開業に向けて「ららぽーと空港線」と「ららぽーと大橋竹下線」が新設されたことで、組合員が増加しています。また、ららぽーと内のバスターミナル開業など、大幅な変更があり、組合員に負担のかかることがないようなダイヤ作成をおこなっています。様々な問題を事前に想定して対応できる体制を整え、来るべき開業日に向けて一致団結して取り組んでいます。

【教宣部長　舛谷豪紀】

22春闘勝利に向けて一致団結
百道浜分会

百道浜分会では、22春闘の闘争態勢強化の取り組みとして、ワッペン着用の徹底と、「きっと勝つ」という意味を込めたキットカットとお茶の配布をおこないました。22春闘も、新型コロナウイルスの影響で、春闘駅伝をはじめ各種行事が中止になりました。外での大人数での集まりごともできない中で自分たちに何ができるか考えましたが、一人ひとりに話しかけ、思いを伝えることしかできません。百道浜分会は、22春闘勝利に向けて最後まで一致団結してたたかいぬきました。

【教宣部長　小田廣太】



組合本部 4月スケジュール

- ◆ 6日(水)…事務局会議、医療共済幹事会
- ◆15日(金)…執行委員会
- ◆18日(月)…医療共済幹事会
- ◆19日(火)…2022政策セミナー
- ◆20日(水)…中央委員会

※急遽変更となる場合があります。